

活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和6年4月13日（土）9時00分～11時30分	天気	晴れ 19.5℃ 52%	
参加者	安久、浅川、安達、新井、伊藤、小俣、開沼、白川、田中、田邊、田村、中尾、西原、野口、浜田、平野、深澤、藤井、本田、松浦、三浦、目黒（一）、目黒（奈）、山畑			計24名
活動内容	森林保全活動			
使用道具	ロープ、スリングベルト、滑車、クサビ、ナタ、手鋸			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	—		浅川、白川、田村、西原、平野、三浦	
区域	B地区、E地区			
作業内容	①枯損木の伐木 ②枝拾い			



タマアジサイの上に、落枝が覆い被さっていた



玉切りして救出している様子



立ち枯れした大径木からの落枝に警戒しながらの作業



伐倒した、枯れて芽吹かず脆くなった大径木

次回の予定：定例活動9:00～
 4月21日（日）イヌシデ広場集合
 4月24日（水）イヌシデ広場集合
 イベント：
 4月20日（土）2024年度通常総会
 5月4日（土）クレマチスフェア
 ☆ボランティア募集・経験不問☆
 第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中
 から好きな日の午前に参加可。活動日
 の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス
 ●春の陽気の中、新規に加入いただいた会員にも恵まれ、木もれびの森の維持管理に努めた。行き交う散策者からの感謝の言葉が大変ありがたい。
 ●春の嵐で落枝が相次ぎ、タマアジサイにも覆い被さってしまった。幸いなことに幹は折れておらず、なおも立ち上がろうとする姿に生命力を感じた。
 ●新緑の季節を迎え、林内の枯損木が露（あらわ）になってきた。当NPOでは安全のために避けてきた大径木の伐木にも挑戦し、径60cmものコナラを伐木した。コナラの寿命は約100年とされ、薪炭として利用されなくなった木々が立ち枯れしている。計画的な伐木と植樹を通して、国道16号沿いに奇跡的に残された、豊かな森の景観を維持管理して行きたい。